

いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク (A'like) ~共に生きる~  
(同様の・等しく) という意味を持ちます。

2009年 VOL.7



## コンテンツ

- 特集—女性の視点による防災・災害復興のすすめ
- あ・らいくな人
- 女性のためのステップアップ講座を開催

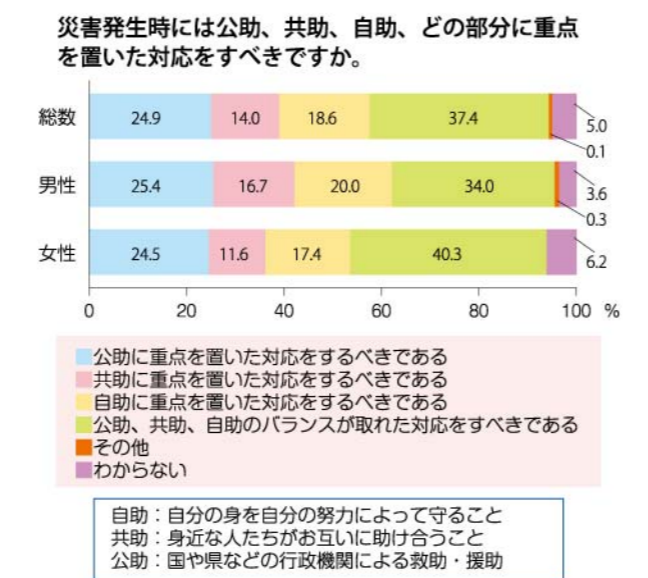
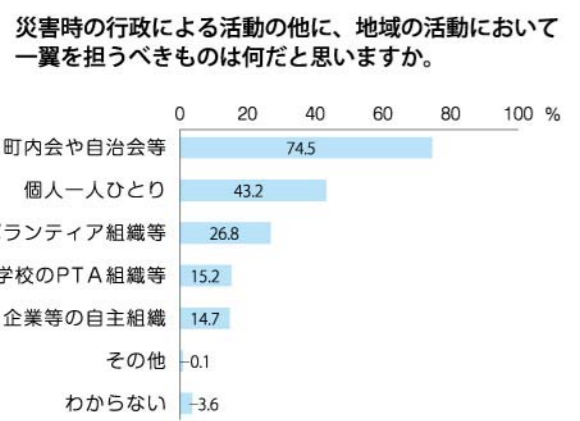
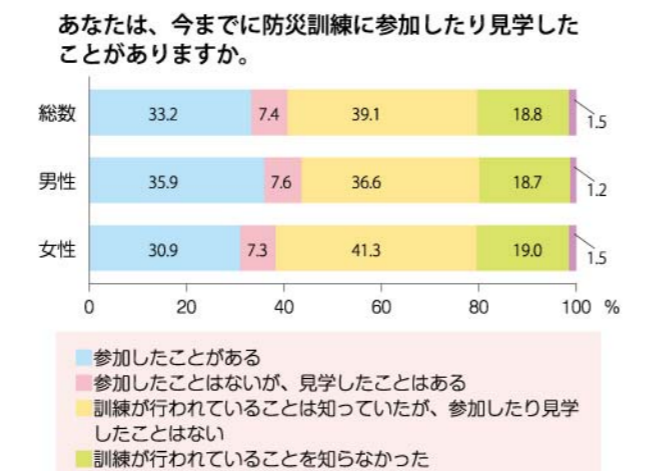
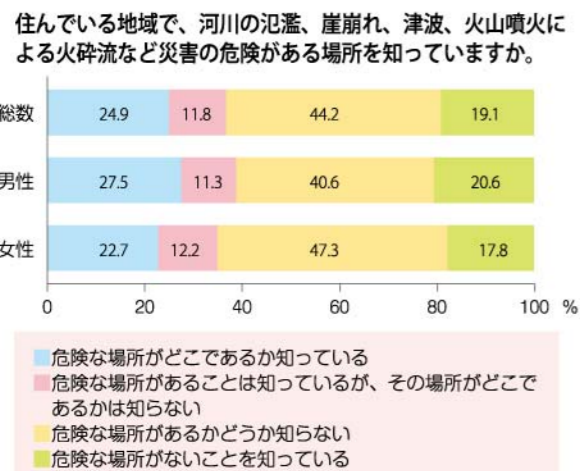
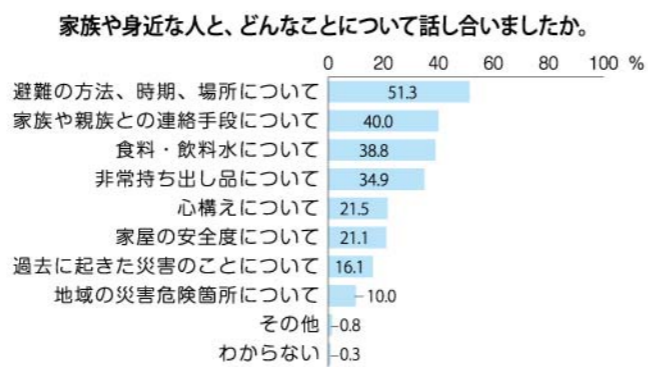
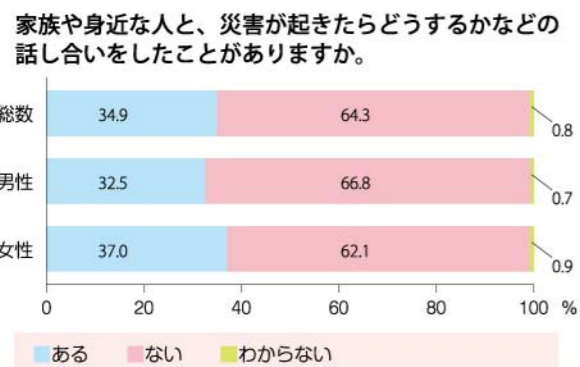


# 特集 女性の視点による防災・災害復興のすすめ!!

ここ数年、全国各地で様々な災害が発生しています。過去に起きた震災等の経験から、被災時には増大した家庭的責任が女性に集中することや、女性の視点が取り入れられていないことにより、避難所生活でも多くの困難に直面することが明らかになってきました。防災は、男女のニーズの違いを的確に把握して進めることが大切です。平成20年2月には、国の防災基本計画が修正され、「男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立」が明記されました。今回は、内閣府が平成14年に実施した「防災に関する世論調査」の一部を紹介します。

## 防災に関する世論調査

資料:内閣府「防災に関する世論調査」平成14年



## 男女共同参画市民フォーラムを開催



平成20年8月23日(土)「老若男女(みんな)が安心して暮らせる明日のために～今 私たちにできること～」をテーマに、平成20年度の市民フォーラムを開催しました。

講師に、新潟県女性財団の大島煦美子(おおしま くみこ)さんをお招きし、「防災・災害復興と女性～新潟県中越大地震からみえたこと～」と題して、災害時の状況やその後の様子を通して見えてきた様々な問題について、男女共同参画の視点から分りやすくお話をさせていただきました。

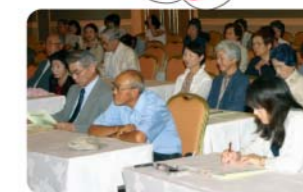
### 避難所

避難所では、様々な年代や性別による問題がおきました。

### 心とからだ

新潟県中越地方を突然襲った大地震は、まちと人々の心に多くの傷を残しました。被害にあった人々は、想像もつかない困難と向き合い、それを乗り越えてきました。災害時に見えにくい女性問題や男女のニーズの違いなど、中越大地震から見えてきた様々な問題を男女共同参画の視点で考えました。

### 仕事



防災の分野へも、女性の参画を進めることが大切です。

### 高齢者

### 妊産婦

### 子ども

老若男女共同参画で地域力向上を!!



### ～被災者の声から～

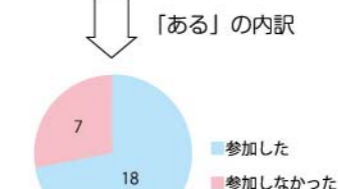
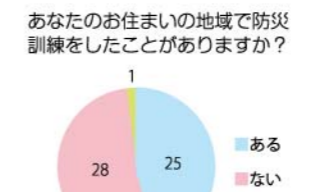
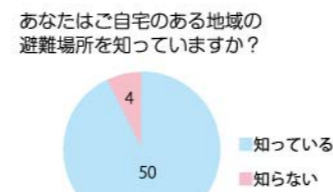
何度となく大きな揺れが襲ってきた。町内の防災委員の方に姑を負ってもらい避難した。私の町内は自主防災組織の活動が活発で、震災避難ビデオの回覧が行われたばかりだった。地域の防災活動の重要性を痛感した。

暗闇の中から私を呼ぶ声が聞こえてきた。近所に住んでいながら、普段は軽く会釈する程度で、素気ないと思っていた人が、一人暮らしの私を心配して探しに来てくれたのだ。本当にうれしかった。

ボランティアとして参加したが、被災者の方たちのプライバシー保護のないことに驚いた。特に女性の着替えや授乳の施設が無い状況に声もなかった。

### 岩見沢市民の意識

(フォーラムアンケートより 総数54人、単位：人)



### 参加者のちょっと一言

町内会で自主防災組織を作りたいと考えていたので、大変参考になりました。

大きな災害を経験していないので、普段からの意識が大切だと思いました。



# — 岩見沢市の防災対策についてお話を伺いました —

岩見沢市の防災対策の取組みについて、総務部安全安心対策室の前山室長にお話を伺いました。



## — 防災・災害発生時の対策としてどのような取り組みをしていますか？

「市民の方々への啓発活動として出前講座を行っています。内容としては、地震や洪水に対する事前対策、安全に避難するためのポイント、災害に備えて備蓄するもの、また、市が備蓄している物資の体験試食などを8地域で開催しています。もちろん、自衛隊等の協力をいただきながら、市民との協働で大規模な防災訓練も実施しています。

新年度には、洪水ハザードマップを作成して全戸配布する予定です。」

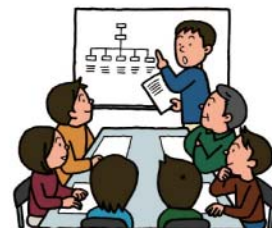
## — 災害ボランティアを募集していますが、具体的には何をしていますか？



「災害ボランティアの募集は平成19年度から始めました。現在では、団体・個人を含めて180名の皆さんにご登録いただいています。具体的な役割としては、災害時の被災者への直接支援やボランティアそのものの支援、行政等の支援活動などです。年1回、災害ボランティアの訓練を行っていますが、今年度は総合体育館を会場に、1泊2日の宿泊体験研修を実施しました。」

## — 現在、自主防災組織はいくつありますか？

「現在6つの自主防災組織があり、41町会、7,000強の世帯が参加しています。平成17年からの取組みということで加入率・組織率は約17%と低く、目標までの道のりはまだまだ長いですね。ただ、災害が起きてからでは遅いわけですから、自主防災組織の必要性について根気よく、理解を求めながら組織数を増やしていきたいと考えています。」



## — 昨年、女性の視点から防災について考えようと市民フォーラムを開催しましたが、ご参加いただいた感想をお聞かせ下さい。

「正直なところ、講演を聞くまでは防災対策に女性の視点が必要であるというイメージが全くありませんでした。避難所で一番先に考えるのは、寝具、食料、トイレのことくらいでした。恥ずかしい話ですが、目からウロコ、大変参考になりました。出席させていただいて本当に良かったです。」

今後防災計画を推進していく中で、女性や子ども、高齢者などに対する細かいフォローが必要であることを前提に進めていきたいです。」



## — 最後に、防災対策を進めるうえで最も大切なのはどのようなことだとお考えですか？

「大災害が発生したとき、行政にできることは限られています。最も大切なのは、自助・共助・公助の三つの力が連携し、一体となることだと考えています。中でも、自分自身や家族を守るという自助の精神を持っていただきたいです。災害に備えてどうするかを、家族で話し合うだけでもいいのです。地震の場合であれば、家具の固定とか寝る場所の安全など、日ごろから考えてみてください。」

大きな災害が起こるかどうかわかりませんが必ずやってきます。災害は事前の準備が一番の安全であり、安心につながるということを、今一度確認しましょう。」



防災の出前講座を実施しています。お気軽に声をかけて下さい。



## 若松地区町会連絡協議会女性部との お茶の間交流会を実施

昨年11月、若松地区町会連絡協議会女性部の事業として、市民会議とのお茶の間交流会を開催しました。会場となった若松会館には、各町内会の会長をはじめシニアクラブや地域の皆さんにも多数ご参加いただき、女性の視点から見てきた「防災・災害復興」の様々な課題について、活発な意見交換を行うことができました。防災の分野にも、女性の視点が必要であることを理解していただく良い機会となりました。



我が家では、水や食料を入れた非常用の持ち出し袋を準備していますよ！

避難所の場所を知らない人も多いので、事前の確認が必要ですね。

防災組織を作るときにも、女性の参画が大切ですね。



日頃から、お互いに声を掛け合うことが大切ですね。



参加された皆さんからは、それぞれの思いや日頃の取組みについて積極的に話していただき、にぎやかな交流会となりました。

今後の防災体制づくりのきっかけとなることを願っています。

## いつ起こるかわからない災害に備えて

日頃から...

### 男女がともに支えあう 地域づくりに努めましょう！

いつ起こるか分からない災害・・・  
防災・災害復興時においても、男女が協働で対応できるよう、日ごろから、家庭や地域、職場等での男女共同参画を心がけ、男女がともに支えあうことができる安全で安心な地域づくりに努めましょう。

### 防災・災害復興分野への 女性の参画を進めましょう！

災害発生時の経験を生かし、男女共同参画の視点を取り入れた防災・災害復興体制を確立するよう、政策・方針決定過程への女性の参画を進めましょう。

また、町内会等の地域コミュニティへの女性の参画を積極的に進め、男女がともに参画する地域の防災体制をつくりましょう。

### 防災訓練や学習会等を 開催しましょう！

性別や年齢を問わず、誰もが災害時に活躍できるよう、日ごろから地域や職場等で災害時における訓練や学習会を開催しましょう。

防災・災害復興に対する共通の認識を持つことで、地域コミュニティの一員として重要な役割を担うことができます。

皆さんの地域でお茶の間交流会を開催しませんか？防災に限らず、子育て支援、仕事と生活の両立、DVなど、テーマは自由です。  
ご希望の方は、市役所企画室までご連絡下さい。





いわみざわが面白い

いろんな個性があるから

男女共同参画いわみざわ

会長 笹嶋喜代子さん



ささじま・きよこ／昭和39年、夫の転勤で岩見沢市へ転居。二男一女は既に独立し、現在は夫と2人暮らし。趣味は夫婦で楽しんでいる洋らん育てと書道（毎日書道展、創玄展、道展等に入賞）  
平成18年4月から男女共同参画いわみざわ会長。

### ■ 私の社会参加と女性活動の原点

私の社会参加は、3人目の子どもが2歳になったとき、義母の後押しで始めた書道がきっかけです。婦人会館の書道サークルに通ったのですが、そこで岩見沢市婦人団体連絡協議会のリーダーと出会い、現在の活動につながっています。

子どもの成長とともにPTAや地域子ども会、町内会活動などを通して社会参加の大切さを学びました。

昭和60年に北海道婦人派遣団員としてアメリカ・カナダへ、平成10年には道の男女共同参画事業でニュージーランド・オーストラリアへも参加させていただきました。各国で女性の社会参画状況や女性の社会進出の重要性を学んだことが、私の活動の原点になっています。

最初の海外派遣が契機で、昭和62年から17年間、男女平等参画推進員として空知支庁に勤務し、道のプランを推進するため管内各地を回りました。当時は、男女共同参画について市町村の担当者に理解してもらおうことも大変でした。今では、なつかしい思い出です。

### ■ 設立から今日までの主な活動

私たちの会は、昭和58年に「婦人問題を学ぶ会」として発足して以来、男女が共に支えあいながら幸せな社会づくりをめざして活動しています。

平成6年には、設立10周年記念事業として、3年の歳月をかけて完成させた「岩見沢の女性史 あかだもの里」を発刊しました。その後、15周年記念誌「輝き」の発刊、平成15年には、念願だった「女性模擬議会」を一般公募の市民とともに開催しました。

発足当時から、学習会や研修会、市民啓発事業など、市と連携を図りながら多くの活動を行っています。

### ■ 子育て応援ひろば「さんかくぼうし」の開設

平成18年度から子育て支援をテーマにした話し合いを始め、市内で子育てしている保護者を対象に、子育て支援ニーズ調査を実施したところ、街なかに子どもを預ける場ができたなら利用したいという結果が出たことから、子どもの一時預かりや親子が交流できる遊びの場を提供しようと、街中での子育て支援を実施することにしました。

事業の開始に向けた準備は想像以上に大変でしたが、多くの方々のご協力をいただき、今年1月、岩見沢市ワークプラザ（市内5条西3丁目）を拠点に、子育て応援ひろば「さんかくぼうし」をオープンすることができました。

毎週金曜日の午前中に開設していますが、たくさんのお親子が遊びに来て、とても賑やかです！

心配していたスタッフについても、市民の皆さんからの申し出が多数あり、嬉しい悲鳴をあげています。

将来的には高齢者も交え、世代を超えた多くの人たちとの交流の場にしたいと考えています。また、この広場の開設によって、中心市街地の利用者が少しでも増え、街の活性化につながることを期待しています。



### ■ 今後に向けて

法律や制度が整備され、女性にとって社会参加しやすい時代が来たように思われますが、現実はまだ十分とは言えません。

岩見沢市では、男女共同参画実践プランが策定され、市民との協働で実践されています。私にとって何よりも嬉しいことで、微力ながらその推進に加わっていきたくと思っています。会としても、女性自身があらゆる分野に社会参画できる力をつけるため、今後も学習と研修を積み重ねていきたいです。そして、若いリーダーが男女共同参画の活動を引き継いでくれることを、心から願っています。



# 女性のためのステップアップ講座を開講

今年度から、女性を対象としたステップアップ講座を開催することになりました。

市が策定したいわみざわ男女共同参画実践プランには「女性のあらゆる分野への参加・参画の推進」が基本理念のひとつとして掲げられています。家庭・地域・職場など、あらゆる分野で女性が自信と生きがいをもって元気に活動できるよう、様々な形態の学習機会を提供し応援していきます。

## 第1回 食 北海道女性農業者倶楽部事務局長 片山 寿美子さん

現代の食生活や食の流通方法の変化と、講師が事務局長を務めるマンマのネットワークの活動についてお話を聞きました。



## 第3回 介護 北海道教育大学札幌校教授 世谷 春美さん

なぜ介護する人の多くが女性なのか、また介護者が女性であるために問題となることは何かについて、お話を聞きました。



## 第4回 環境 環境学習トレーナー 九津見 奈保美さん

節電や容器包装の見直しなど、身近で環境にやさしい生活スタイルについてお話を聞きました。

産業廃棄物になるおからを利用したおいしいクッキーをいただきました。



## 第2回 ボランティア 岩見沢市医師会附属看護高等専修学校 専任教師 大山 真美恵さん

青年海外協力隊員としてチリの病院でボランティアされていた時のお話を聞きました。

日本とチリの文化や国民性、医療システムの違いなどを学ぶことができました。



## 第5回 健康 岩見沢市役所保健師 橋本 可奈子さん

特に女性の生活習慣病の予防について、乳がんのチェック方法や効果的な皮下脂肪の減らし方などをわかりやすく教えていただきました。



## \* 修了式&茶話会 \*



「ボランティアに参加したい!」「陶芸を習いたい!」という方もいて、今回の受講が次のチャレンジへのきっかけになったようです。

修了式では、受講生一人ひとりに市民会議の代表から終了証書が授与されました。

「終了証書をもらうのは学生の時以来で、とても嬉しいです。」と皆さん笑顔で受け取っていました。

茶話会では、お茶を飲みながら講座の感想やこれからチャレンジしたいことなどを、話し合いました。

「少しだけ、前進できたかなと思います。」「なるほどと思うことばかりで、勉強になりました。」などの感想があり、「またこのような講座に参加したい!」と、とても積極的でした。

初日は緊張していた受講生も、最終日にはすっかり打ち解け、新たな出会いの場ともなりました。



次回は皆さんも参加してみませんか?



## ■女性プラザ祭2008が開催されました。

平成20年11月12日(水) 会場：北海道立女性プラザ



午前に行われた、女も男もワイワイセッションでは、NPO法人北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会の「あなたらしく働きませんか～ひとりひとりが輝く生き方を求めて～」、旭川女性会議の農業女性団体「ときめき隊」への支援活動、イーブンネット・宗谷「明日の宗谷を語る会」のDV防止啓発について、各団体から時代に合わせた前向きな活動が報告されました。

午後からは、東京大学大学院教授の小森陽一さんによる「人類史から考える女性の人権—物語の中の女たち—」と題した教養講演会が行われました。2008年は源氏物語の千年紀で、男性が文字を占有していた時代に、男女の有様を女性の視点で書かれた貴重な本として紹介されました。ユニークな話し方ながらも「有史以来、初めて性差による不平等が克服されようとしている」など、大学の講義を聴いているようでした。



## ■「あおもり男女共同参画をすすめる会」と交流事業を実施しました。

平成20年3月24日(月) 青森市

「あおもり男女共同参画をすすめる会」は、青森駅近くの青森市男女共同参画プラザ「カダール」の指定管理者という立場で、施設の管理と男女共同参画事業を推進していました。

平成7年、北京で開催された世界女性会議に3名の市民が参加したことを機に、翌年開催された「男女共同参画社会を考える市民フォーラム」の席上で男女共同参画都市宣言を行い、毎年10月は記念月間としてフォーラム等各種事業を実施しています。



平成11年に「あおもり男女共同参画づくりをすすめる会」が結成され、市から各種事業を委託されるとともに、男女共同参画プラザ「カダール」、働く女性の家「アコール」の指定管理者として、青森市の男女共同参画を積極的に進めている状況を伺いました。活動形態を比較することはできませんが、学ぶことが多い交流事業となりました。

## INFORMATION

### 配偶者等からの暴力に関する庁内連絡会を設置！

暴力は、加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。

女性に対する暴力は、多くの人々にかかわる人権問題です。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



岩見沢市は、暴力の予防と根絶に向けた啓発活動の推進、暴力に悩む被害者の早期発見や相談体制の充実、被害者の状況や意思に応じた総合的で継続的な支援、自立に向けた支援を適切に行うため、関係する各課の職員が連携・協力して対応する、「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の相談・支援に係る庁内連絡会」を設置しました。3月4日に第1回目の庁内連絡会が開催され、今後の対応などについて話し合いました。

ひとりで悩まずに、安心して相談してください。  
あなたの身近な所に相談機関や支援機関があります。

岩見沢市役所の市民活動課市民活動係で相談を受け付けています。  
☎0126-23-4111 (月～金 9:00～17:30)

### 編集後記

今年度の男女共同参画プラン推進市民会議としましては、広報・啓発・研修の各部門に分かれ、よりよい実践プランの推進を目指し取り組んでまいりました。その一年間の経過をかつまんで編集しました。

一人でも多くの方に、私達の活動をご理解いただけることを願っております。ご意見・ご感想をいただければ幸いです。

ア・ライク VOL.7 2009年3月

発行 岩見沢市企画財政部企画室  
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
TEL: 0126-23-4111(内線422)  
E-mail: danjo@i-hamanasu.jp

企画・編集 岩見沢市男女共同参画情報誌編集委員会  
(いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議)